

◆適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	DCMUを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
さとうきび (春植又は夏植)	—	一年生雑草	植付覆土後 (雑草発生前)	100~150 g/10a	100 L/10a	1回	全面土壌 散布	2回以内 (土壌散布は 1回以内)
		一年生及び 多年生広葉雑草	雑草生育期 (草丈 15cm 以下) ただし、 収穫 90 日前まで			2回以内	雑草茎葉 散布	
一年生雑草		萌芽前 (雑草発生前)	1回			全面土壌 散布		
一年生及び 多年生広葉雑草		雑草生育期 (草丈 15cm 以下) ただし、 収穫 90 日前まで	2回以内	雑草茎葉 散布				
さとうきび (株出)	—	一年生雑草	植付直後 (雑草発生前)	150~200 g/10a	70~100 L/10a	1回	全面土壌 散布	1回
一年生及び 多年生広葉雑草		雑草発生前~ 雑草発生前期	150~300 g/10a	雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布				
一年生雑草		雑草発生前	1000~ 2000 g/10a	100~200 L/10a			3回以内	
パナップル	水田畦畔	一年生雑草	植付直後 (雑草発生前)	150~200 g/10a	70~100 L/10a	1回	全面土壌 散布	1回
水田作物 (水田畦畔)			雑草発生前~ 雑草発生前期	150~300 g/10a			雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布	
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道 等	一年生雑草	雑草発生前	1000~ 2000 g/10a	100~200 L/10a	3回以内	植栽地を 除く 樹木等の 周辺地に 全面土壌 散布	3回以内

◆効果・薬害等の注意

- (1) 雑草茎葉散布の場合は、雑草の大きさや密度に応じて、散布液量を適宜増減し、茎葉が十分濡れるように散布すること。
- (2) 雑草茎葉散布の場合は、雑草の草丈が 15cm 以下の時期に散布すること。尚、気温の高い時期（20℃以上）の散布が効果的である。
- (3) 散布液調製後は、そのまま放置せず、できるだけ速やかに散布すること。
- (4) 植付覆土後に使用する場合は、覆土はできるだけ細かく砕いた土を用い、均一厚めに行うこと。
- (5) 砂質で水はけのよい圃場や、激しい降雨の予想される場合は、薬害を生じるおそれがあるので使用しないこと。

- (6) 作物の茎葉にかからないように注意して散布すること。
- (7) 水田畦畔に使用する場合は、下記の事項に注意すること。
 - ① 農作物（水稲）に接近して散布するので、散布液が飛散して農作物にかからないように十分注意すること。
 - ② 塗り畦に使用する場合、畦塗り直後で畦が濡れているときは、水田に流入して薬害を生じるおそれがあるので使用しないこと。
 - ③ 散布液が水田に流入するおそれがあるところでは使用しないこと。とくに透水性の大きな畦畔、砂質土では完全に除草すると、畦が崩れたり、散布液が水田に流入し、水稲に薬害を生じるおそれがあるので使用しないこと。
 - ④ 翌年に移動する畦、又は崩して水田にする畦には使用しないこと。
 - ⑤ 雑草発生揃期に使用する際は展着剤を加用すること。
- (8) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (9) 使用後の容器や散布器具は必ず水で十分洗っておくこと。
- (10) 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬剤は河川等に流さず、容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- (11) 公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意すること。
 - ① 激しい降雨の予想される場合は使用を避けること。
 - ② 散布薬液の飛散、或いは本剤の流出によって、有用植物に薬害が生じることのないよう十分に注意して散布すること。
 - ③ 水源池、養殖池等に本剤が飛散・流入しないように十分注意すること。

◆安全使用上の注意

- (1) 誤飲、誤食などのないよう注意すること。
- (2) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
散布液を吸い込んだり、多量に浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。
- (4) 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- (5) 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管すること。